

新建福岡・NOW

第26号 2022.08.06

& PAST

発行元
新建築家技術者集団
福岡支部事務局
〒815-0041
福岡市南区野間 3-9-20-4F
[ケイ・プラッツ内]
Tel/Fax 092-541-8128
HP : shinken-fukuoka.net

4 / 05

ひさしぶりに集合

新建福岡のメンバーでお花見「やはり対面での交流は最高！」

4月5日（火）、新建福岡メンバーでお花見をしました。

昨年のお花見企画はコロナで中止となってしまいましたが、今年は無事開催の運びとなり、当日はテンション高めに集合場所の西公園下鳥居に一番乗りしました。

久々にお会いする、また初めてお会いする新建メンバーが三々五々集合され、片井建築士差し入れの缶ビールを手に、おしゃべりしながら光雲神社まで参道を登りました。

大濠公園の桜は大方葉桜になる頃でしたが、西公園はまだ枝垂れ桜がとても綺麗でした。参道脇のソメイヨシノ（？）もそんなに葉桜化しておらず、神社入口から見下ろすと良い眺めです。

入口鳥居の「光雲神社」扁額を見て、「西方沖地震で落ちなかったのかね」「鉄筋で額束に緊結されているのか?」「いやいや、貫にはめ込んである」「そういえば、端島神社（軍艦島）の扁額は鳥居から外れて落ちてましたね。あれは経年劣化でしょうけど。」というような建築士っぽい談義などしつつ、ゆっくりとお花見を楽しみました。

参道を下って、ちょっと早めに貸し切りの餃子居酒屋へ到着。懇親会からの参加組も徐々に加わって、近況報告、仕事、趣味、習い事、以前の新建企画や取り組み、大牟田市庁舎保存のことなどわいわい話し、大いに盛り上がりました。

コロナ禍以降、新建メンバーのご活躍は主にMLで知るのみでしたが、今回のリアル集団お花見かつ懇親会に参加して、やはり対面での交流は最高！と実感しました。

今後、例会などの新建活動もリアル開催が定着（復活）していくことを期待しての散会となりました。（報告：越川佳代子）



新建福岡支部 50 周年記念事業 準備中

記念誌事業 支部会員の仕事集

福岡支部の皆さんの、仕事内容、希望、思い出、一言メッセージなどなど一足お先に編集委員は読ませていただいています、これが特別冊子になると思うと……

凄く内容の充実した 50 周年の記念誌になると思ってワクワクしています。

原稿の形式は、製本として綴じる為に余白と、見やすさから文字サイズのみ決めていますが、手書きでも切り貼りでも OK ですし、写真を多くするなどバランスも自由です。

手書きの原稿も数点ありますが、素晴らしいです。楽しみにお待ちしております。

メンバーの仕事をお互いに知ること、支部活動の今後の充実にもつながっていきますのでどうぞ、よろしくお願いします。

9 月に入りましたら、校正の依頼を送ります。このときまで、修正・書き換え OK です。現在、58 名中 32 名の原稿が届いています。まだの方、お待ちしております。

「建まち相談所」



7 月の Zoom ミーティングのようす
(当日は鳥居さんも参加でした・退出後の写真)

まちづくり（建築協定、商店街活性化・・・）、建築（欠陥、空き家・・・）など、支部活動として「相談所」を始動しようと、現在準備をすすめています。いろいろな分野に長けている人が複数集まっているからこそ、受け皿になれるのでは。

・受付はどのように？

定期開催、例会時、通信での受付 等、弁護士会のやり方も参考にしながら検討中

・受付ける相談内容、位置づけ、情報管理

もう少し準備をすすめます。ご興味のある方、ミーティングにご参加ください

8 月 6 日（土）新建学校開催 「今、伝えたいこと」 山本厚生氏

福岡支部でのひさしぶりの新建学校です。

代表幹事でもある山本厚生氏に、これまでの活動と移住を通して見えてきたもの、今だからこそ伝えたいことなどを語っていただきます。明日の仕事への、暮らしへの、力の充電を一緒に考えませんか。



前回のあらすじ

帰国後続いていた手紙のやりとり。「さようなら」カードのわけを直接聞くために、のり子はデンマークへ行くことを決めた。

隣の席に乗り合わせた日本女性との旅の話のおかげで、思っていたほど疲れも感じないし、深刻な思いにもなっていない自分に、のり子はほっとしていた。

やがて機体は高度を下げながら、カーストラップ空港に入ってしまった。

『すべて受け止めよう。』

空港の到着ロビーの人混みの奥に、少し細くなった拓二が見えた。

別れを告げた拓二に、わけを聞くためだけに、デンマークに飛ぶ決意をしたのり子の行動は、小説のどんでん返しのようで、拓二自身も予測していないことだった。

その頃、任されていた料理店は順調だったが、のり子のいなくなった日常を埋めるものがないことは、のり子から届く手紙を読むたびに、その現実が拓二に突きささっていた。

『五万クローネって、いくらだったっけ?』
店の料理人とのかけ麻雀に負けたことを手紙に書いた自分、二年前から同じ地点で空回りしている自分にも嫌悪感が込み上げてきたし、のり子がおどけて書いたつもりの返事の手紙が、その日の拓二には皮肉としか受け取ることができなかった。離れている二人に流れる風をその日は感じることができなかった。

それまで絶え間なく交わされたのり子との手紙のやり取りからは、のり子のデザインと親しむ日常が溢れていて、拓二の居場所はないように思っていた。それがのり子の寂しさを隠す言葉選びだったと初めて気づいたのは、デンマーク行きを告げられたあの電話だった。二人の時間にいたいと、素直に思えた。

「結婚しよう」

近づいてきた拓二から引き寄せられたのり子に、思いもかけ

ない拓二の一言だった。

つづく



2022
7~12月
(計12回)

第4期九州民家大学 オークヴィレッジ 上野英二さんを講師にお招きし、開講

今期も、久留米市での対面受講とZoomを活用したオンライン受講で行なっています。北海道から沖縄から全国各地より申込みいただき、総勢57名(うち新建会員11名)でスタートしました。

(伝統木構造の会九州地域会、日本民家再生協会九州・沖縄地区、新建福岡支部共催)



7月16日から、第4期九州民家大学がはじまりました。今期は、岐阜高山で住宅のほか、店舗などの建物を伝統構法で設計をしているオークヴィレッジの上野英二氏を講師に迎え、「伝統構法を現代に活かす設計術をテーマに学びます。これからの追加受講申込みも可能です。興味のある方はお問い合わせください

7/16(土)	「オークヴィレッジについて」	10/22(土)	「意匠についてⅠ」
7/17(日)	「日本の民家を訪ねて」	10/23(日)	「意匠についてⅡ」
8/20(土)	「素材-木材」	11/19(土)	「実例 住宅」
8/21(日)	「素材-石、土、他」	11/20(日)	「実例 古民家改修」
9/24(土)	「架構についてⅠ」	12/17(土)	「実例 店舗」
9/25(日)	「架構についてⅡ」	12/18(日)	「実例 施設」



大牟田市庁舎本館保存活動 「登録有形文化財大牟田市庁舎本館の保存と活用をめざす会」レポート

昨年、「めざす会」が実施した市民アンケートの結果では84%の市民が大牟田市庁舎本館を大牟田のシンボルだと答え、本館を市役所として使うと共に市民も利用できる施設として利用することを83%の市民が望んでいること、市庁舎整備の方向としても、本館を庁舎として生かしながら、防災拠点としての最小限の新庁舎を建設というのが、学校施設の利用も含めて55%であり、今の庁舎をリニューアルするというのが26%で、本館解体・新庁舎建設は5%、笹林公園に大規模な新庁舎建設は4%しかいないことに自信をもって進めていきたいと思えます。

7月下旬に行われた総会の後に、「本館の保存活用を含む大牟田市庁舎整備（案）」の報告が映像を使って行われました。会員の時津孝隆さん（学生）に3次元パノラマを作成していただき、分かり易い映像で計画案を見ることができました。今後さらに検討を進めて、大規模な新庁舎建設の対案としたいとのことです。後、大牟田市の市庁舎整備推進室の方にも今回の案を示して、意見交換をしていくことが重要であると思えます。

「めざす会」としての考え方をはじめてしっかりとした案にまとめることができ、これからの活動に大きな力になると思えます。



八幡市民会館の活用を求める連絡会 サポーター募集中

福岡県北九州市にある「八幡市民会館」。村野藤吾が手がけた作品性の高いモダニズム建築だが、耐震面やバリアフリー改修の課題から取り壊しの方針が出され、様々な団体からの「歴史的文化的価値」を訴えた結果、取り壊しの方針は撤回されました。現在は、市立埋蔵文化財センターを館内に移設する方針となっています。保存活用とし外観を維持したうえで、「ホールとして作られた1階の大部分を文化財の収蔵倉庫に改修する」とのこと。これが、歴史的文化的価値の保存に値するものなのか、市に対して、活動をつづけています。市は2022年度予算に「埋蔵文化財センター移転・実施設計費」を計上しています。大詰めの段階にきています

1口1000円で、サポーター登録を引き続き募集しています。詳しくは、連絡会事務局にお問い合わせください。

八幡市民会館の活用を求める連絡会 事務局090-9563-3815

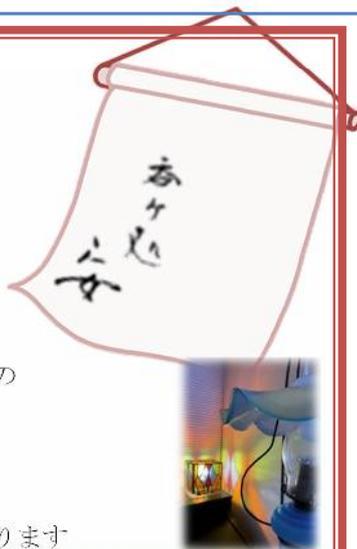
呑みどころ 安

偶数月の第3水曜日 19:00 開店の
「呑み処 安」。

今回は、8月17日(水)

テーマ「忘れられない風景」

皆さまのお越しをお待ちしております



編集後記

1年くらい前から新建福岡支部50周年に合わせ、いろいろなことを考えているので、例会等の機会は少ないのですが、毎月の幹事会に加え、それぞれの担当でミーティングをしたり、皆さん忙しく動いているようにお見受けします。発行日(8/6)には新建学校が開催、10月には記念誌「(仮題) みんなの仕事集」が完成予定等、少しずつ成果をお届けできそうです。みなさまお楽しみに。

(原稿とりまとめ：瀬口

レイアウト：月成)